十勝毎日新聞
2009年（平成21年）3月30日 月曜日
発行所：十勝毎日新聞社
〒080-8688
帯広市東1条南8丁目
電話(代表)0155-22-2121

音更町長に寺山氏

佐藤氏に3776票差　新人対決制す

【音更】任期満了に伴う音更町長選挙は29日に投票が行われ、即日開票の結果、前副町長で新人の寺山憲二氏（58）＝無所属＝が1万3987票を獲得。前町議会副議長で同じく新人の佐藤英氏（47）＝同＝を3776票差で破り、初当選を果たした。1997年に続き2度目の町長選に挑んだ佐藤氏は、草の根選挙を展開し追い上げを図ったが、及ばなかった。（2、3面に関連記事）

新人対決を制し、万歳三唱で初当選を喜ぶ寺山氏（左）と礼子夫人（29日午後11時半、山下僚撮影）

音更町長選　開票結果

当13,987 寺山憲二 58無新
10,211 佐藤　英 47無新

当日有権者 35,068人
投票総数24,340票
投票率 69.41%
有効投票24,198票
無効票 142票

2001年以来、8年ぶりの選挙戦となった町長選は、現職・山口武敏町長（69）＝3期＝の町政継承と発展を目指し、住民組織から推挙された寺山氏と、役場出身者の町長が3代続く町政の流れを変えようと訴える佐藤氏の一騎打ちとなった。

寺山氏の陣営は26地区で発足した地域後援会に加え、連合音更など幅広い組織から推薦と支持を得て盤石な体制を構築。課題だった「出遅れと知名度不足」の克服に努めた。寺山氏は34年の行政経験を基に、農業と商工観光業連携による地域活性化、雇用創出など98項目の政策を掲げ、一貫して〝町民党〟の立場を強調。組織の厚みも生かし、各年代や職業別で幅広い支持を得、佐藤氏の追い上げを許さなかった。

佐藤氏は草の根選挙を展開し、町内をくまなく回って直接、町民に支持を訴えた。役場改革のほか、子育て支援など若年層への投資に力を入れた政策が30、40代を中心に受け入れられた。新興住宅街でも一定の浮動票を取り込んだ。毎朝、音更と帯広を結ぶ橋のたもとに立ち、通勤者にもアピールを図った。12年前に獲得した9653票から上積みしたものの、再挑戦は実らなかった。

（音更町長選取材班）

てらやま・けんじ　1951年、幕別町生まれ。帯広三条高、帯広畜産大卒。74年に音更町役場入り。経済部農政課長、企画部広報広聴課長、同企画課長、企画部長を経て2007年に副町長。

解説

「継承と発展」選択

早くも試される温泉街、観光対策

道内町村では全道一の人口を誇る音更町。その新しいリーダーに、町民は町政の「刷新」を訴えた佐藤氏ではなく、「継承と発展」を目指す寺山氏を選んだ。

町の人口は今月19日、第4期町総合計画（2001―10年度）で定める目標人口4万5000人に到達。山口武敏町長の下で05年度にスタートした「財政健全化5カ年計画」も、各項目で目標数値を上回り、好調に推移する。

そうした中、今回選挙戦では町の行財政改革も際立った争点にならず、佐藤氏は政策全般で寺山氏との明確な違いを打ち出せなかった。現町政への満足度は、十勝毎日新聞社が告示前に実施した世論調査でも6割を超え、現職後継色の強い寺山氏の勝利の背景の1つともなった。

寺山氏は町議22人中19人の応援を受け、共産党も支持につくなど、町議会では圧倒的な与党体制を築いた。ただ、佐藤氏に投じられた4割に上る1万票は今の町政の流れへの不満とも受け止められ、これを受け継ぐ寺山氏にもそのまま突きつけられる。寺山氏は真摯（しんし）にその声を受けとめ、町議会も是々非々の姿勢が求められる。

順調にみえる音更のまちづくりも、国立社会保障・人口問題研究所が昨年末に発表した将来推計人口（05―35年）では20年を境に減少に転じ、転換期を迎える。〝寺山新町政〟の下で新年度から策定に入る第5期町総合計画（11年度から）で、まちのビジョンをどのように描き出すのか、町民は注視している。

選挙期間中の27日には、十勝川温泉の中心部に位置するグランドホテル雨宮館が自己破産を申請、従業員70人が解雇された。温泉街のイメージダウンは避けられず、町の産業の柱でもある観光はさらに厳しさを増している。政策の優先度で「経済危機への対応」を挙げた寺山氏は、早速、手腕が試される。

（酒井花）

ごみ処理施設 包括委託へ

十勝環境事務組合　長期契約で効率化

十勝環境複合事務組合（組合長・砂川敏文帯広市長）は2011年度から、帯広市内のごみ処理施設「くりりんセンター」、池田町内の一般廃棄物最終処分場「（仮称）クリーンセンター」（建設中）、音更町万年のチンネル処理センターなどを長期・包括的に民間委託する方向で検討している。経費削減と事業効率化が目的。

新年度は導入の是非を検討する予定。委託する可能性調査診断業務の入札（条件付き一般競争入札）を4月1日に告示する。

現在稼働中の2施設については民間事業者に運営を委託しているが、契約は単年度ごとで事業者の裁量範囲も狭い。同組合ではクリーンセンターの完成（11年4月予定）を契機に、「包括的民間委託」方式の採用を検討、現段階では約10年の長期契約を想定している。運転管理や維持管理に関して受託事業者の裁量範囲を広げる方針だ。

同組合では「これまでは修理も受託業者独自の判断で行えなかった。包括的に委託することでコスト削減が図れる」としている。今後、調査・診断を通して効率性やコストを総合的に見極め、包括する施設数や契約期間などを検討する。

調査診断業務の入札申請受け付けは4月1―10日。参加資格は09年度帯広市競争入札参加資格者名簿への登録を済ませ、道内に本店、支店、営業所を置く事業者。公共団体発注の一般廃棄物処理施設を対象とする、包括的民間委託事業発注支援業務の元請け実績なども必要。

概要は同組合ホームページ（http://www.clean-recycle.jp/）に掲載。問い合わせはくりりんセンター（37・3550）へ。

（角田悠馬）

市産業振興会議が発足

産学官連携などへ提言

帯広市が2月に策定した産業振興ビジョンを推進する市民協働の組織「市産業振興会議」が30日午後、発足した。中小企業、地域金融機関、行政機関、農業者ら関係者20人で構成。来年度からの10年程度で実施する各種事業に関し、提言や助言などを行う。

振興会議の発足に伴い、同ビジョンの制定に向けて議論、提言してきた市中小企業振興協議会（会長・渡辺純夫東洋農機会長）は解消する。委員の任期は2年（再任可能）。専門事項の調査が必要な時は委員、部会委員で組織する部会を設置できる。振興会議の庶務は市商工観光部が担当する。

同ビジョンは中小企業、地域産業の振興に関する構想。地域資源の活用、中小企業の活性化、産業間・産学官連携を図り、5つの施策の基本方向と20の基本施策を基に50の事業を展開する。

6重点プロジェクトを設定し、創業・起業支援、アグリ・フード・バイオ関連産業の振興、恋人の聖地に認定された旧幸福駅の周辺に複合観光施設整備などを掲げた。

市商工観光部は「民間の知恵を借りて今後の市の施策を進めたい」としている。

（中津川甫）

委員は次の通り。

（敬称略）

板谷守、岩橋浩、太田豊、奥周盛、金山紀久、河西智子、塩野谷和男、志子田英明、杉山憲昭、曽我彰夫、高原淳、竹川博之、谷脇正人、千葉和也、坪井真一、永草淳、中村利雄、中藪俊秀、中谷全宏、浜田敏

いのうえ歯科医院
市内西9南2 ☎25-6480

十勝川インフォメーションセンター

新年度も通年開館

地域の要望受け帯開建

投票率69・41%

投票率は69・41%で、2001年の前々回（前回は無投票）を8・58ポイント上回ったが、新入3人が出馬した1997年を5・17ポイント下回り、01年に続く戦後2番目に低い数字となった。

帯広開発建設部（安田修部長）は30日までに、予算削減に伴い運営縮小を検討していた「十勝川インフォメーションセンター」（大通北2）に関し、新年度も通年で運営することを決めた。

同センターは十勝川の施設や工事に関する資料をそろえ、クイズやジオラマなどを楽しみながら歴史、施設の役割などを学べる広報施設。全国的な広報施設の見直しを受けて、道開発局が運営費削減の方針を打ち出していた。

帯開建では「（センターは）利用者が多く市や地域からの存続要望もあり、通年開館を維持したい」と説明。運営費についても「管理費の軽減に努めることで可能」としている。

なお同センターと同様の広報施設である池田町の「十勝川資料館」については、新年度から冬季（11月―翌3月）は閉館する予定。両施設合わせた運営費用はこれまで約2700万円だったが、新年度は半額以下の約1000万円以下に削減される見通し。

（角田悠馬）

編集余録

野草園

帯広市の緑ケ丘公園に行くと、子供のころを思い出す。当時、百年記念館や道立美術館は無かったが、ボートに乗れる池、長い滑り台、動物園、児童会館など、あちらこちらに幼い自分が遊んでいた記憶がある▼野草園もそんな思い出のある場所。クロユリなどの草花、樹木、湿地、透き通った川の流れ、トンボやチョウ、昆虫…古い映画のシーンのように脳裏に残っている。自然の中で過ごした記憶は懐かしい、穏やかな気持ちにさせてくれる▼野草園は全道で初めて、全国でも3番目のユニークな施設として1958年に開園した。105科530種余りの野草、樹木があったが、調査で82科372種に減少していることが分かった（26日付本紙社会面）▼昭和50年代後半、周辺の道路拡幅工事、周辺の宅地化によって野草園が乾燥化し、植生が侵されていることを記事にしたことがある。美術館建設のときも野草園への影響を懸念する論議があった。その後も環境の変化で貴重な野草が生存できなくなっているのは残念だ▼環境モデル都市としてエコタウンを目指すのはいい。しかし、半世紀の間、小・中学生の理科・自然環境教育の場になってきた野草園の保存を忘れてはならない▼帯広の市花はクロユリ。野草園はかつて「クロユリの谷」と呼ばれていた。何年か後、野草園からクロユリが姿を消した、なんてことにならないように。（小野寺裕）

■配達/講読に関するお問い合わせは
0120-25-3999
■ニュース速報は携帯サイト「かちモバ」
http://kachimai.mobi/
■十勝毎日新聞社ホームページ http://tokachi.co.jp/
○編集局/22-2121 ○広告局/23-2323 ○事業局/22-7555 ○販売局/24-2222

星屋 株式会社
市内西5南17 ☎22-8800
（HPもご覧下さい）
新築・分譲住宅は 星屋 検索
賃貸・不動産売買は 星屋不動産流通 検索

きょうの紙面

トモエパワー3年連続最強　14・25

ばんえい

今シーズン最強馬を決める第41回ばんえい記念は、帯広産駒のトモエパワーが、史上2頭目の3連覇を達成した。

ミサイル写真、米衛星が撮影　5

北朝鮮

米シンクタンク、科学・国際安全保障研究所は、北朝鮮・舞水端里にあるミサイル発射施設をとらえた最新の衛星写真を公表した。

道の駅が来月オープン　22

本別

旧銀河線本別駅舎を活用した道の駅「ステラ★ほんべつ」が4月1日、供用を開始する。パン工房やレストランは20日から。

十勝川下流で貴重な野鳥観察　25

自然

十勝川下流域で行われた野鳥観察バスツアー。半日でオオワシなど天然記念物5種類を確認し、参加者は感激。4月5日も行われる。

なんでも広場　7
テレビ・娯楽　8―10、26
スポーツ　11―15
せいかつ掲示板　19
らいふ（健康）　20、21
ぐるっと18町村　22、23

あすの帯広　最高気温 7℃　最低気温 －2℃
6～12時　12～18時

この光りの向こうに。
株式会社 北のハウス
〒080-0802 帯広市東2条南17丁目10番地1
TEL.0155-22-5147 FAX.25-6128
フリーダイヤル 0120-50-5678
URL http://www.kitano-house.co.jp

なんと土曜日も同料金プラン
なんとお1人様 1泊2食 1室2名様より
5,400円（諸税込）
プラス990円で毛蟹一パイ付
好評につき、4月末迄延長
※4月22日（水）・23日（木）は除外日
1日15室限定!!
皆でワイワイ ボウリングを楽しもう（1ゲーム500円）
植物性モール温泉＋ラドンの湯
夕食はゆっくりお部屋食
真心美人のおもてなし
十勝川 国際ホテル第一
河東郡音更町オサルシ1番地
(0155)46-2301(代)
小学生未満は3,000円
〈お問い合わせ・お申し込みは〉
十勝管内フリーダイヤル
0120-417-221

車検専門店 ワールド
新低料金（※消費税、公的費用等全て含まれます。）
軽自動車 ¥38,630
乗用車 車両重量1.0t以下 ¥63,020
乗用車 車両重量1.0超1.5t以下 ¥75,620
乗用車 車両重量1.5超2.0t以下 ¥88,220
バン 小型トラック 車両総重量2.0t以下 ¥36,400
バイク ¥33,750
安心システム
◁ワールドの車検は▷
追加料金0円に向けてのサービスを第一に考えます！
受入時に車両の点検を実施致しますので、車検後の料金におけるトラブルの心配はありません。だから、安心です！
ライト、トーイン等、調整料は無料！ 代車も無料です！
御予約は電話1本でOK！（AM8:00～PM7:00 予約は年中無休）
車検と中古車の専門店 ワールド
帯広市西7条南1丁目（R38沿）
0120-26-7520
TEL0155-26-7520
国道38号線

音更町長に寺山氏

▲万歳三唱で初当選を喜ぶ寺山氏（前列左から2人目）と礼子夫人。左は金澤陸別町長、右は山口町長、後列左は石川知裕衆院議員（29日午後11時半、山下僚撮影）

十勝毎日新聞
発行所：十勝毎日新聞社
〒080-8688
帯広市東1条南8丁目
電話（代表）0155-22-2121

号外

佐藤氏に3800票差　新人対決制す

開票結果（確定）

当13,987 寺山憲二 58 無新
10,211 佐藤　英 47 無新

【音更】任期満了に伴う音更町長選挙は29日に投票が行われ、即日開票の結果、前副町長で新人の寺山憲二氏（58）＝無所属＝が1万3987票を獲得。前町議会副議長で同じく新人の佐藤英氏（47）＝同＝を3776票差で破り、初当選を果たした。1997年に続き2度目の町長選に挑んだ佐藤氏は、草の根選挙を展開し追い上げを図ったが、及ばなかった。

2001年以来、8年ぶりの選挙戦となった町長選は、現職・山口武敏町長（69）＝3期＝の町政の継承と発展を目指し、住民組織から推挙された寺山氏と、役場出身の町長が3代続く町政の刷新を訴える佐藤氏の一騎打ちとなった。新人対決は、3人が立候補した97年以来、12年ぶり。

寺山氏は、26地区で発足した地域後援会に加え、連合音更、民主党音更支部、音更建設業協会、町職員組合、共産党町委員会、十勝川温泉旅館組合など幅広い組織から推薦と支持を得て、盤石な体制を構築。終盤には帯広市でも支援組織ができ、課題だった「出遅れと知名度不足」の克服に努めた。

一貫して〝町民党〟の立場を強調。「自信と誇りを持って音更と言えるまちづくり」をスローガンに掲げ、「町民目線」「現場主義」「公平中立」を基本姿勢に、98項目のきめ細かな政策を訴えた。組織の厚みも生かし、各年代や職業別で幅広い支持を得、佐藤氏の追い上げを許さなかった。

佐藤氏は、草の根選挙を展開。町内全世帯の1万8000戸を歩き終え、直接町民に支持を訴えたほか、毎朝、帯広と音更を結ぶ橋のたもとに立ち、通勤者にもアピールを図った。子育て支援など若年層に力を入れた政策を打ち出し、12年前に獲得した9653票から上積みしたものの、再挑戦は実らなかった。

投票率69・41％

前々回を8・58ポイント上回る

投票率は69・41％で、前々回（2001年）を8・58ポイント上回ったものの、同じく新人対決だった1997年に比べると5・17ポイントの減少。01年に続いて70％を下回り、戦後2番目に低い数字となった。

男女別では男性が68・69％（投票者数1万1249人）、女性が70・04％（同1万3091人）。前々回比では男性が8・32ポイント、女性が8・8ポイントそれぞれ上回った。

当日有権者3万5068人（男1万6376人、女1万8692人）に対する投票総数は2万4340人で、このうち有効投票数は2万4198票、白票などの無効票は142票、持ち帰りはゼロだった。

寺山氏「支えられ、本当に感謝」

「勝った！」。午後11時すぎ、電話で確定票が伝えられると、寺山氏の選挙事務所（町木野大通西6）は割れんばかりの拍手が起こり、こぶしを突き上げて喜ぶ支持者も。同時に、寺山氏が礼子夫人を伴って事務所に入り、くす玉を割った。

選対本部の黒川義雄幹事長が「全員野球で総力を結集した結果」と勝利宣言し、万歳三唱。寺山氏は「1人ひとりに支えられ、本当に感謝している。きょうだけは当選の喜びに浸らせてほしい」とあいさつし、目を赤く腫らして支持者と肩を抱き合った。山口武敏町長をはじめ、管内の各市町村長も駆け付け、代表して金澤紘一十勝町村会会長（陸別町長）、砂川敏文帯広市長が祝辞を述べた。

佐藤氏「頑張り足りず…」

佐藤氏の選挙事務所（町木野大通東13）は、寺山氏が1000票をリードする3回目の中間開票結果が入ると、沈痛なムードに包まれた。佐藤氏は午後11時、暢恵（のぶえ）夫人とともに姿を見せ、支持者1人ひとりと握手し、敗北をわびた。

佐藤氏は「頑張りが足りず、落胆の思いをさせて深くおわびしたい。皆さんの中から、町政刷新の意思を継ぐ方が生まれるのを期待する」と無念の様子で述べた。支持者からは「若いから頑張れ」と激励の言葉が投げ掛けられた。堀合富士子選対本部長は「（相手候補の）大きな組織を乗り越えられなかった」と頭を下げた。

現町政の満足度反映「継承と発展」選択

解説

新人同士の一騎打ちは、寺山氏に軍配が上がった。過去の音更町長選の新人対決が1000票前後の差で激戦を繰り広げてきたことを考えると、3776票の差は大きい。「旧来型の組織選挙」と批判がある中でも、寺山氏の陣営は確実に票につながる単票の積み上げを目指し、安泰ムードを引き締めた。

十勝毎日新聞社が告示前に行った世論調査では、現町政への満足度が6割に達し、こうした町民の意識も、現職後継色の強い寺山氏に追い風となった。町の人口は今月19日に、第4期町総合計画（2001―10年度）で定める目標人口の4万5000人に到達し、山口武敏町長の下で05年度に始まった「財政健全化5カ年計画」も好調に推移。町民は「刷新」を訴える佐藤氏よりも、現町政の「継承と発展」を目指す寺山氏を選んだ。

佐藤氏は役場出身者の町長が3代続く町政を批判。役場改革を訴えて30、40代の支持を取り込み、新興住宅街でも一定の浮動票を取り込んだ。子育て支援など、若年層への投資を訴えた政策も支持を得た。ただ、政策面では寺山氏との明確な違いを打ち出せず、881票差まで迫った12年前ほどの勢いは見られなかった。

町議22人中19人が応援に回り、さらに共産党までが支持につくなど、町議会では圧倒的な与党体制を築いた寺山氏。ただ、佐藤氏に投じられた1万票は山口町政への批判票とも受け止められ、これを受け継ぐ寺山氏にもそのまま突きつけられている。寺山氏は4割にも上る声を真摯（しんし）に受けとめ、町議会も是々非々で行政に対することが求められる。（酒井花）

購読のお申し込みは
ニッコリ サンキュー
0120-25-3999
楽しく使えて役に立つ ケータイサイト
かちモル
KACHIMAI.MOBI
http://kachimai.mobi/